

学校支援活動事業訪問

福島市訪問【福島市立鳥川小学校】

訪問日：令和元年10月26日（土）8：30～11：10

場所：国登録有形文化財 矢吹邸（福島市成川地区）

内容：「ふるさとの歴史にズームイン～矢吹邸訪問」
での学習支援ボランティア

鳥川小学校の6年生52名が参加し、矢吹邸での「歴史・茶道・篠笛教室」が行われました。茶道教授、篠笛奏者、郷土史家、そして矢吹家当主の方々が授業の講師です。

当主の方から矢吹邸についての説明を受けた後、篠笛奏者の演奏を鑑賞しました。子どもたちは、篠笛の繊細で豊かな音色を感じ取りながら、演奏に聴き入っていました。

次に、郷土史家の方から「鳥川地区の歴史」についての説明を受け、熱心にメモを取りながら真剣な表情で聞いていました。

最後に、グループに分かれて茶道教授のお手前を拝見し、茶道体験を行いました。子どもたちは、地域に残る文化財や伝統文化のすばらしさを体感しながら学ぶことができました。



【校長先生の声】

今回のように、地域にある国登録有形文化財をお借りして歴史学習を行うというすばらしい体験ができたのは、信夫学習センターのコーディネートのおかげです。教職員だけではつながることができないところを、学習センターの方にサポートしていただけるのは本当にありがたいです。こうした場での体験を通して、地域の方と次のつながりが生まれていくと思っています。

教室で行う授業だけでは、その当時の人々の暮らしぶり等を体感することはできず、伝統文化のよさを子どもたちに十分には伝えきれません。矢吹邸での学習を通して、子どもたちの中に日本文化へのあこがれのようなものが生まれるのではないかと思います。

【子どもの声】

お茶を点てるのは簡単そうだと思っていたけれど、やってみたら思ったよりも難しかったです。お茶の歴史についても知ることができ、昔の人になりきって茶道体験をすることができました。今回の学習で、鳥川地区の歴史について今まで以上に詳しく知ることができてよかったです。鳥川地区がますます好きになりました。

【ボランティア（矢吹邸当主）の声】

この建物に居住しながら建物の管理をしています。国登録有形文化財ということで維持管理していくことは大変ですが、地域の方の力をお借りしながら活動を続けています。今回のように子どもたちの学習の場として建物を活用していただき、貢献できることは光栄です。

この活動は、児童数や講師・体験の多彩さという面で規模が大きく、福島市でも代表的な学校支援活動のひとつです。当日は福島市地域学校協働本部事業評価検証委員の皆様も現地見学にいらしていました。検証を通してますます充実した活動に発展していくと思われます。